

## 基盤地図情報作成検査ツール バージョン 6.0.64 更新記録

2011/03/22  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>  
[info@geocoach.co.jp](mailto:info@geocoach.co.jp)

### 1. XMLファイルへ変換 2

メニュー[基盤地図情報]-[XML ファイルへ変換 2]で出力する XML で、追加・変更された地物の「出典メタデータ」の設定を変更しました。

追加および変更と判定した地物の属性情報は下の表のようにXMLファイルに出力します。下の表にない属性は、シェープファイルのフィールド値をそのままXMLに出力します。

XML の属性	追加	変更
地物 ID uuid	新規 ID。 ダイアログで指定された「識別コード」+「管理連番」+連番。連番の最初の番号はダイアログで指定。	同左
編集実施フラグ	シェープのフィールド[編集フラグ]が true(=1)か false(=0)の場合、その値を XML ファイルに出力。それ以外の空白などの場合、false(=0)を出力。	true(=1)
存在期間_自	ダイアログで指定された日付を XML ファイルに出力。	シェープのフィールド[存在期間自]の値を XML に出力。
整備完了日	ダイアログで指定された新規の整備完了日を出力。	同左
整備作業番号	シェープファイルのフィールド[作業番号]が空白でない場合、その値を XML ファイルに出力。空白の場合、ダイアログで指定された文字列を出力。	同左
出典メタデータ	ダイアログで指定された新規の出典メタデータを出力。シェープファイルのフィールド[出典メタ]が空白でない場合、その値を XML ファイルに出力。空白の場合、ダイアログで指定された文字列の先頭に「fmdid:」を付けてを出力。	シェープのフィールド[出典メタ]の値を XML に出力。 同左
基盤地図情報メタデータ	ダイアログで指定された新規の基盤地図情報メタデータを出力。	同左